

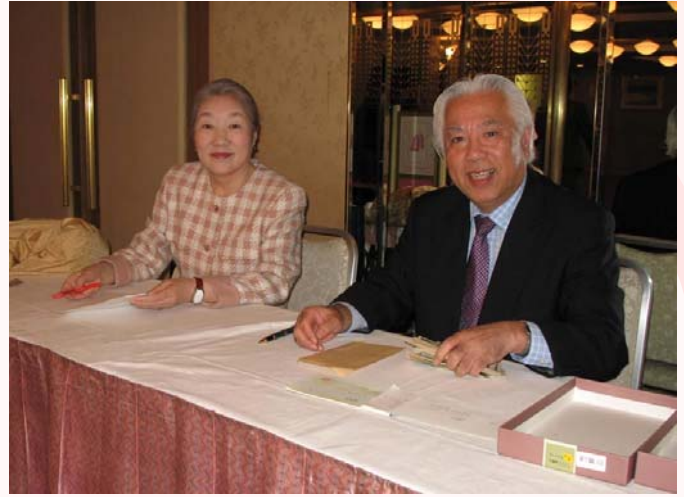
平成18年秋高連忘年会&懇親会

日本青年会館

18年11月30日



一步一步の着実な努力、その積み重ねが人様に元気と感動を与えるんです。



写真撮影&アルバム編集
榎 副会長 (秋田南)



↑能代工、藤田氏 (カメラマン)
ご本人の写真は珍しいですよ。

偶然ではないんです。全てこれご縁なんです。
今一緒できることに感謝しましょう。





出来るか出来ないかではなく、やろうとする意欲が大事。

又、何かをやろうとするのに遅すぎることは無いのです。秋高連の存在目的達成のためにたゆまぬ努力をしてゆきましょう。





■ 本大会

平成19年9月29日(土)
~10月9日(火)

●開会式 県立中央公園県営陸上競技場

●閉会式 県立中央公園県営陸上競技場

秋高連は会員相互の連絡を密にし、その親睦を図り、秋田県との緊密な連繫をとり、各母校並びに県勢の発展に貢献することを目的とする。

29高校OB69名の参加を得た秋高連忘年会懇親会は終始和やかな雰囲気の中で懇親の実を挙げました。日本青年館の佐藤常務が秋田金足農業高校OBであるとのご縁で、いろいろな便宜を頂き盛会裏に終了できました。感謝いたします。



■ 冬季スキー競技会

平成19年2月10日(土)
~13日(火)

●開会式 県立田沢湖スポーツセンター
陸上競技場

●閉会式 鹿角市スポーツ記念センター

■ 第7回全国障害者スポーツ大会

平成19年10月13日(土)
~15日(月)

●開会式 県立中央公園県営陸上競技場

●閉会式 県立中央公園県営陸上競技場





角館哀歌

水田竜子

あなたの輝きは多くの人が心を込めて磨いてくれた結果なんです。
 自信と謙虚さ、どちらも大事、自分を信じて行動し多くの人に感動を与えてください。
 「角館哀歌」が多くの人に歌われるよう祈念します。



角館哀歌

水木れいじ・作詩/水森英夫・作曲/前田俊明・編曲

恋の残り火 雪で消し
 桜の頃には 忘れたい
 あなたと別れて 訪ねた町は
 北の静かな 角館……
 生まれかわって 出直したいと
 願うおんなの ひとり旅

墨絵ほかにし 薄暮れて
 淋しさあふれる 武家屋敷
 あなたを失くして はじめて知った
 夜の長さよ 角館……
 泣けとばかりに 舞い散る雪が
 肩につめたい ひとり傘

雪の切れ間の 三日月は
 みれんに焦がれて 瘦せたの
 あなたの面影 抱きしめながら
 酔えさせつない 角館……
 遠くなるほど 逢いたさつり
 ころろ乱れる ひとり酒



- 1 角館哀歌
作詩/水木れいじ
作曲/水森英夫
編曲/前田俊明
- 2 遠野炎歌
作詞/水木れいじ
作曲/水森英夫
編曲/前田俊明
- 3 角館哀歌
作詞/水木れいじ
作曲/水森英夫
編曲/前田俊明
- 4 角館哀歌
作詞/水木れいじ
作曲/水森英夫
編曲/前田俊明
- 5 遠野炎歌
作詞/水木れいじ
作曲/水森英夫
編曲/前田俊明

仙北市角館町とは...

角館町はいまから380年ほど前、この地方を領していた戸名義勝によって造られ、その後佐竹北家の城下町として発展してきました。現在、武家屋敷通りには6軒のお屋敷が昔のままに残っており、深い木立に囲まれたその佇まいは訪れた人々をいにしえの世界に導いてくれます。

武家屋敷には、国の天然記念物にも指定されている枝垂桜があります。城下町を彩るこの桜は、1664年、京都の公家三条西家・実号の娘が当時角館を統治していた佐竹北家2代目と興入れする際に、嫁入り道具の中に入っていた苗木を新木としたものといわれています。いずれも夜にはライトアップされ、幻想的な春の宴がくりひろげられます。

桜、新緑、紅葉、雪景色そして優雅で勇壮な山ぶっつけが行われるお祭り、四季折々にその表情を変え、ゆったりとした時の流れが感じられる城下町です。



仙北市役所観光課 TEL:0187-43-3352